

# Agile Japan 2017

シン・アジャイル ~アジャイルでつくるミライ~

【辛】 いやいや、標準化しないわけにもいくまいて

~~DAD本翻訳チーム~~



株式会社ゼンアーキテクト

藤井 智弘

# 事前のご案内

そもそも「アジャイルに標準化ってどうよ?」とは思いながらも、“上の人”は「標準化する」っていうし、その一方で「リーダーシップのある人だけのチーム」では横に広がらないし・・・当然ウォーターフォールのプロジェクトとの絡みも無視できないし・・・と標準化にかかわらざるをえなくなってお悩みの諸氏に、ちょっとしたアドバイスと具体的な段取りを差し障りのない範囲で提供する~~60分~~です。

さ、30分に!

# 標準化活動がいまひとつ評価されない理由

- 着任したら、やることがすでに決まっていた。あるいは、経緯を知らない。
- 「決定事項だから」や、耳障りの良いスローガンで押し切れられている。
- よくわからない基準でレビューされる。
- いつまでも”決める作業”をしている。
- 何に使うかわからない、使われているかすらわからないデータ
- 役に立ちそう立たない”有識者”

# Agile Japan 2017

シン・アジャイル ~アジャイルでつくるミライ~

~~【辛】 いやいや、標準化しないわけにもいくまいて~~

【辛】 築地市場○洲移転問題に学ぶ  
アジャイル標準化の勘所



株式会社ゼンアーキテクト

藤井 智弘



# 異なる世界観

## アジャイルの世界観

目的にコミットして動機付けされた  
そこそこのスキルのエンジニアが  
権限を移譲されて  
集中して事にあたれば、  
結構なことが出来る

## 管理側の世界観

技術よりもビジネス  
交換可能  
平準化  
厳密な予実管理  
管理強化（マイクロマネージメント）

# 異なる世界観をつなぐハブ

アジャイルの世界観

管理側の世界観

目的にコミットして動機付けされた  
そこそこのスキルのエンジニアが  
権限を移譲されて  
集中して事にあたれば、

技術よりもビジネス  
交換可能  
平準化  
厳密な予実管理

コミュニケーションのスキーム (タイミング・対象・粒度) (メント)

コンテキストに応じた判断

# ”移転”に際して検討すべきポイント

## □”土壌検査”

□”東京オリンピック”よりも”食の安全”

□ステージングを意識する

□これだけはやってはいけない

なぜ、  
アジャイル？

ウソでもアジャイルっ  
て言いたいから？

そもそも  
何も知らない？

タイムtoマーケット  
のため？

要件が固まらないから？

失敗や変化を許容する文化か？

基礎体力

「うちは現場が強くて…」

ITとビジネスの  
”距離感”

決めない文化

# ”移転”に際して検討すべきポイント

”土壌検査”

”東京オリンピック”よりも”食の安全”

これだけはやってはいけない

# スローガンを

””””本来の目的”と”幅のある施策”に落とす

スローガン

生産性向上

…データは取ってないけど

世の中の9割は  
アジャイルだ！

…と、アジャイルベンダーが言ってる

コスト削減

…外注費しか見てないけど

これから  
はビッグデータだ！だ  
からDevOps

”リリース可能”じゃね？”

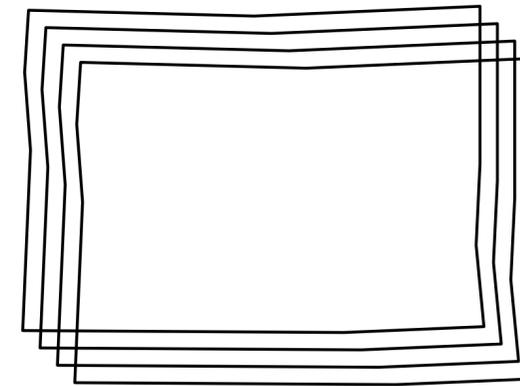
”アジャイルでビジネス貢献”

”DevOpsでビジネス貢献”

月単位の  
リリース実現

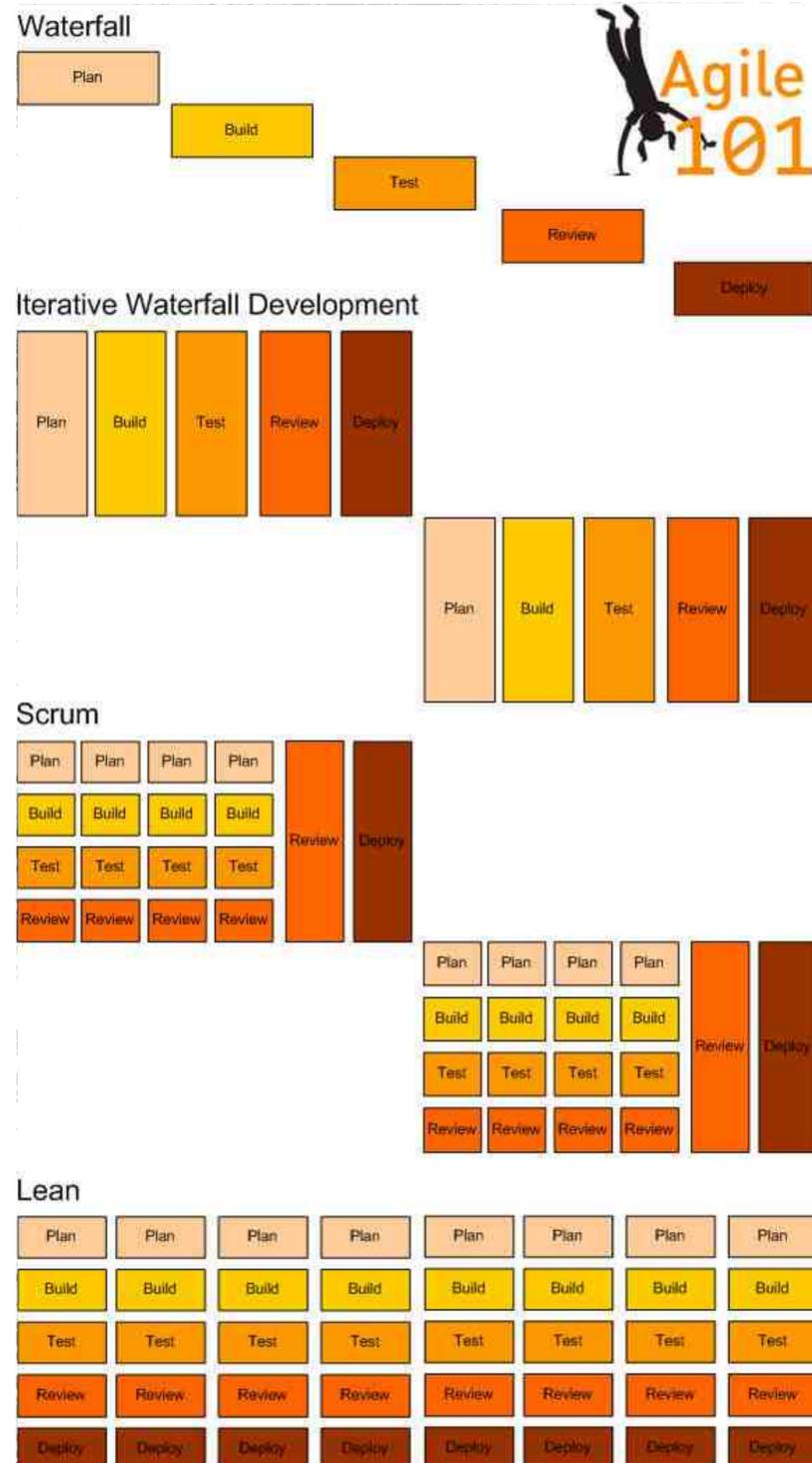
ゴールはこっち  
”本来の目的”

2017 ~~XX~~に  
第1版展開



”幅のある施策”

# 開発といってもやり方はいろいろある



プロダクトライン

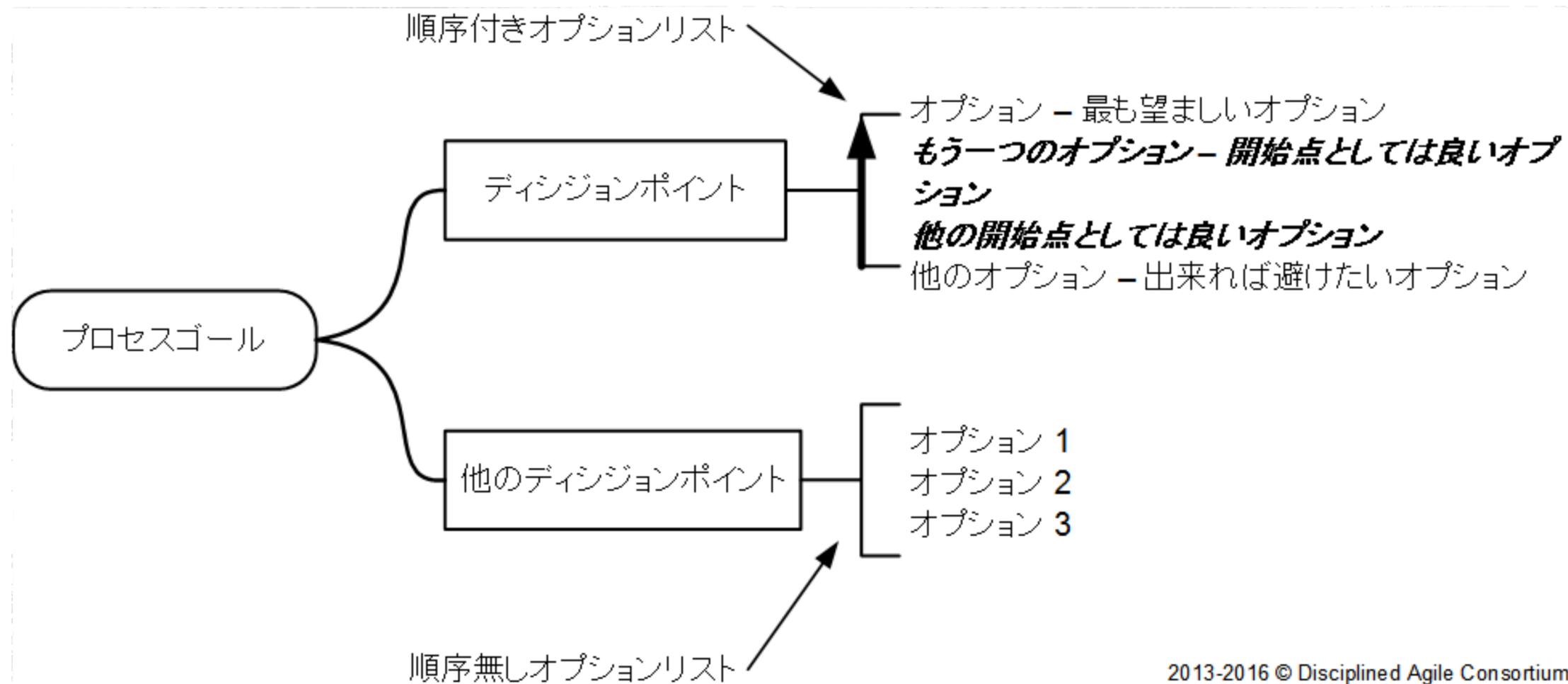
複数リリースの並行開発



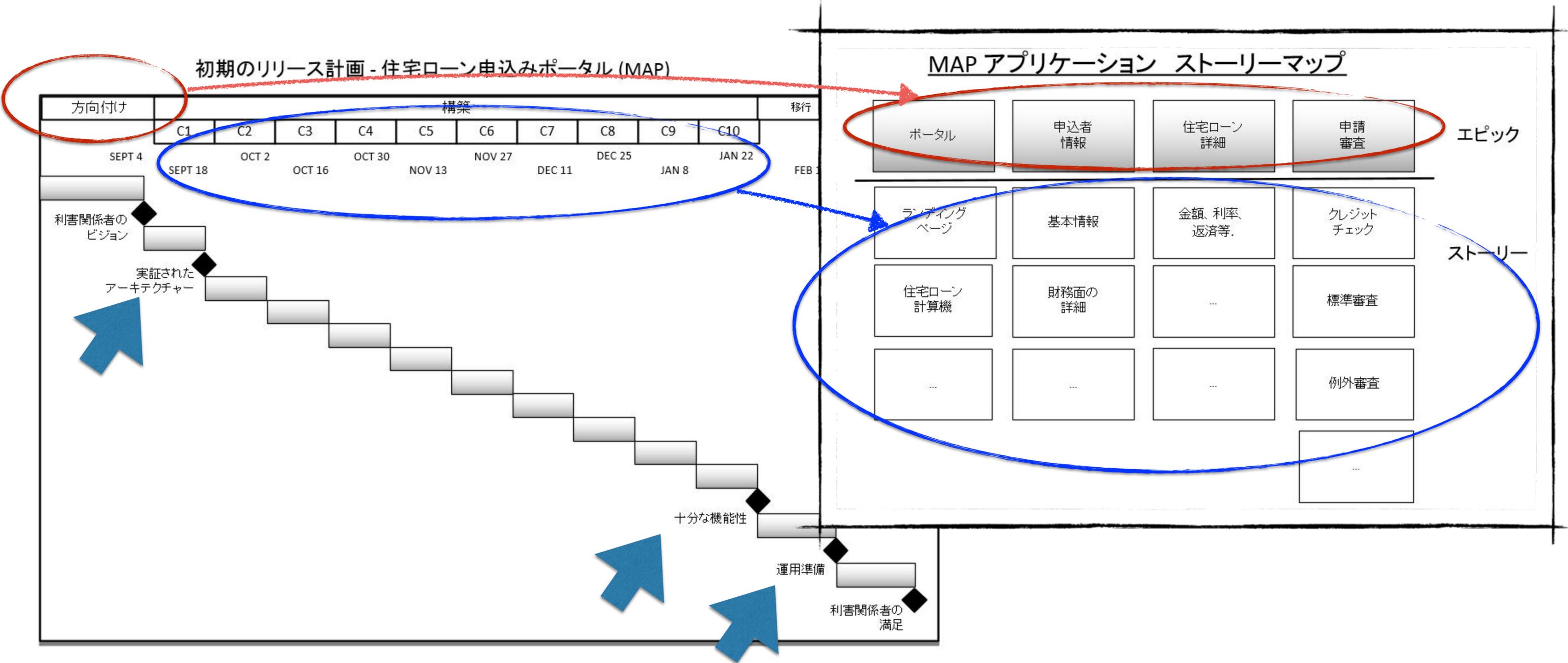
コンテキストに応じた判断

# DADのゴール駆動

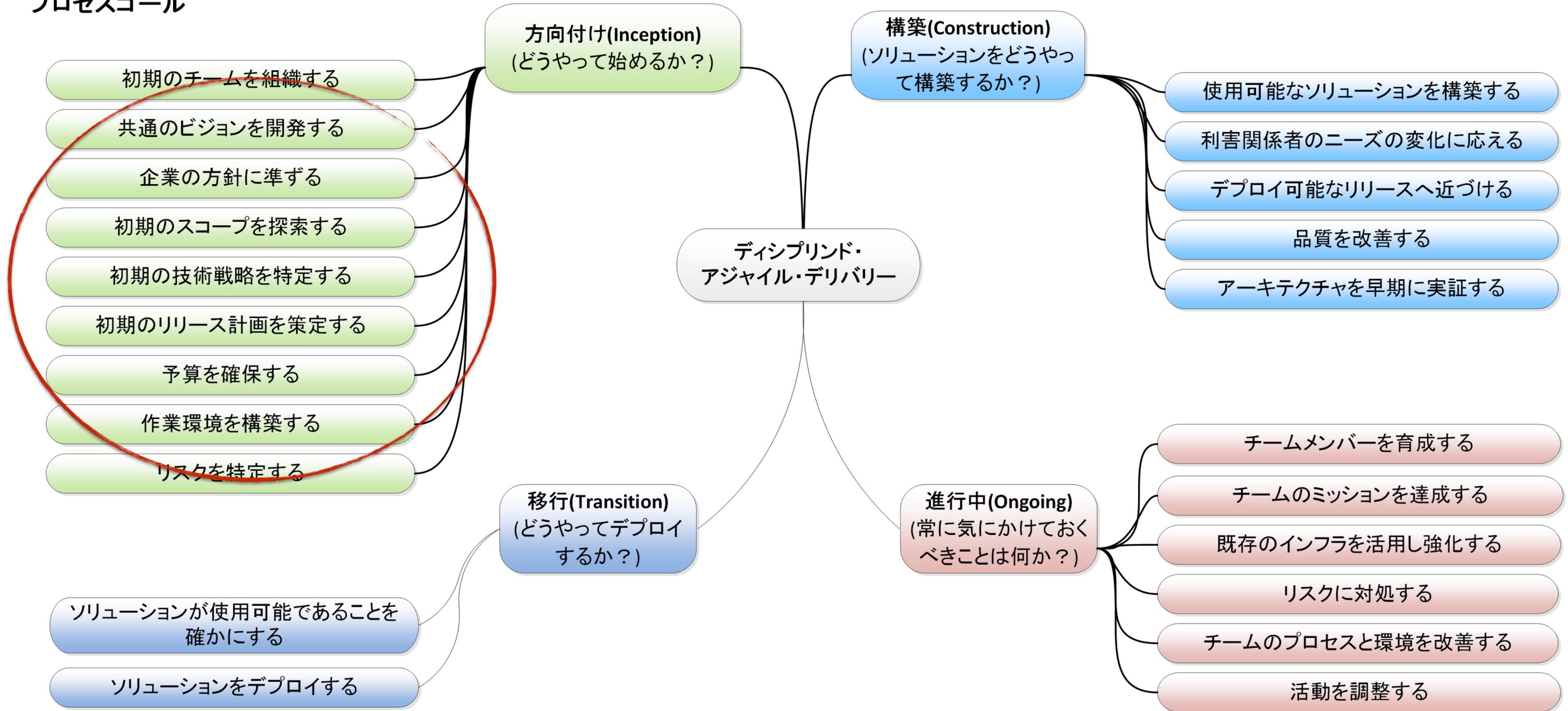
## コンテキストに応じた意思決定の支援



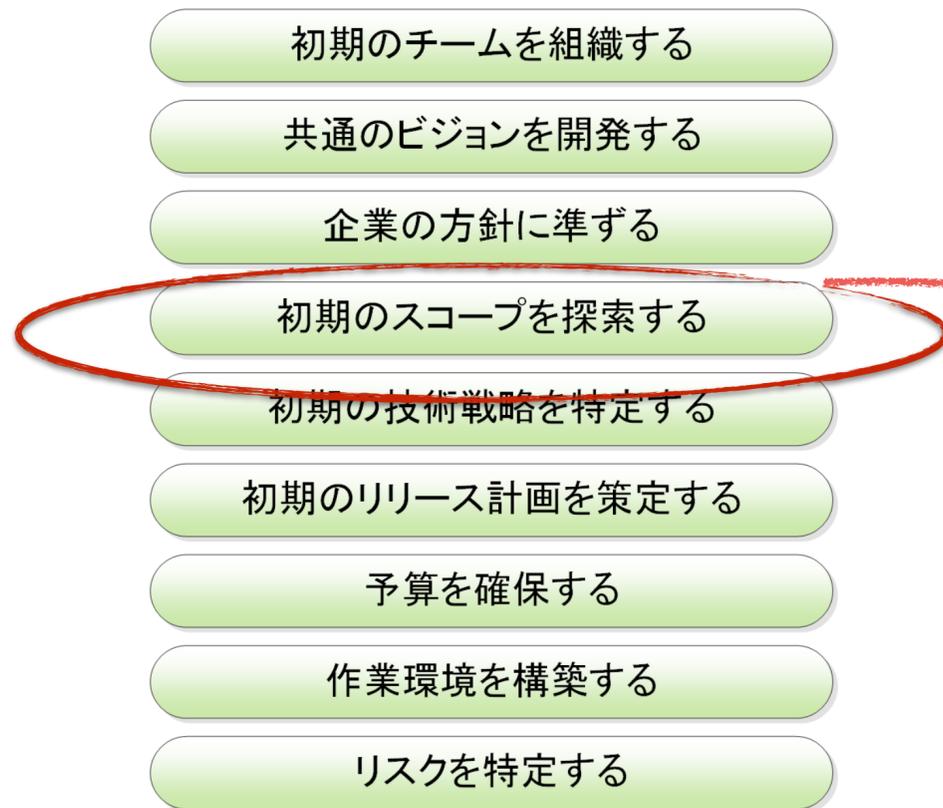
# マイルストーンと粒度



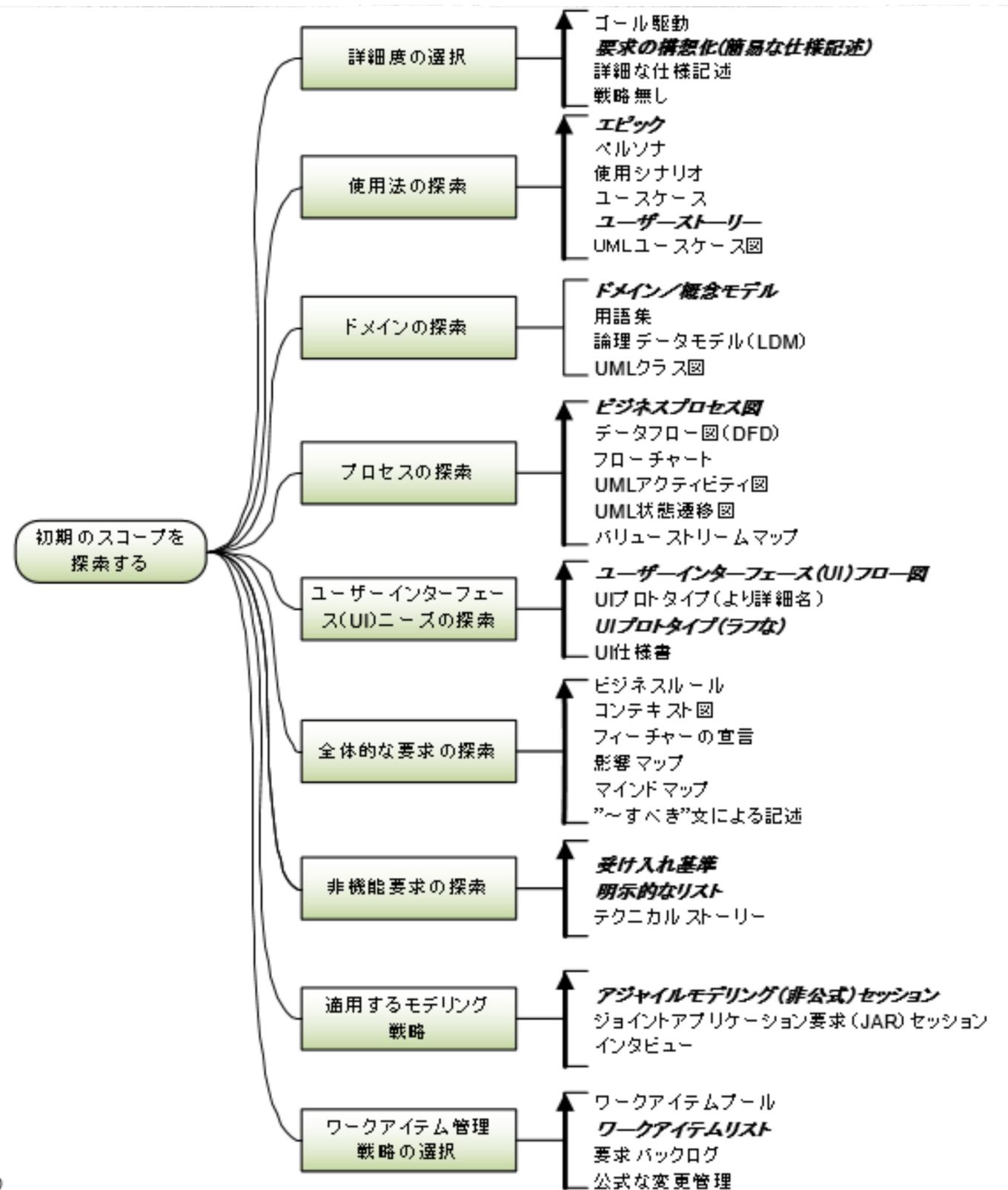
# ディシプリンド・アジャイル・デリバリー (DAD) プロセスゴール



2013 © Disciplined Agile Consortium



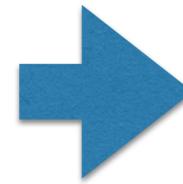
2013 © Disciplined Agile Consortium



V3.0  
Copyright 2013-2016 Disciplined Agile Consortium

# ゴール駆動は、こんなふうには標準化に寄与する

- 議論すべき事・時期・ポイントがあらかじめ提示される
- アジャイルのためだけでなくプロジェクトのための検討事項が含まれる
- コンテキストに応じたオプションが提示される



- ★立ち上げ&着手が早まる
- ★多様な利害関係者の巻き込みの助け
- ★検討のスピードアップ
- ★ステージング（成熟度）の意識醸成

# ”移転”に際して検討すべきポイント

”土壌検査”

”東京オリンピック”よりも”食の安全”

やってはいけない

# これだけはやってはいけない

- トライアル用の「折衷案」を作ってはならない
  - ユーザ部門/品証部門外し
  - ウォーターフォールとのごたませ
- ”コスト削減”を大目標にしてはならない
  - そもそも、コストなんて満足に把握していない
  - その気になれば、「ブラック化」することを厭わない管理職は、結構いる
- ”文化”や”ビジネス貢献””仕事へのモチベーション”を振り回してはならない
  - (やり方はともかく) みんな考えていないわけではない
  - 文化は、ふるまいを通して定着するモノだ
- メトリクスで理解しようとしてはならない
  - 「メトリクス」は信号機だとおもったほうがよい
  - サイクルを意識する

# ”移転”に際して検討すべきポイント

”土壌検査”

”東京オリンピック”よりも”食の安全”

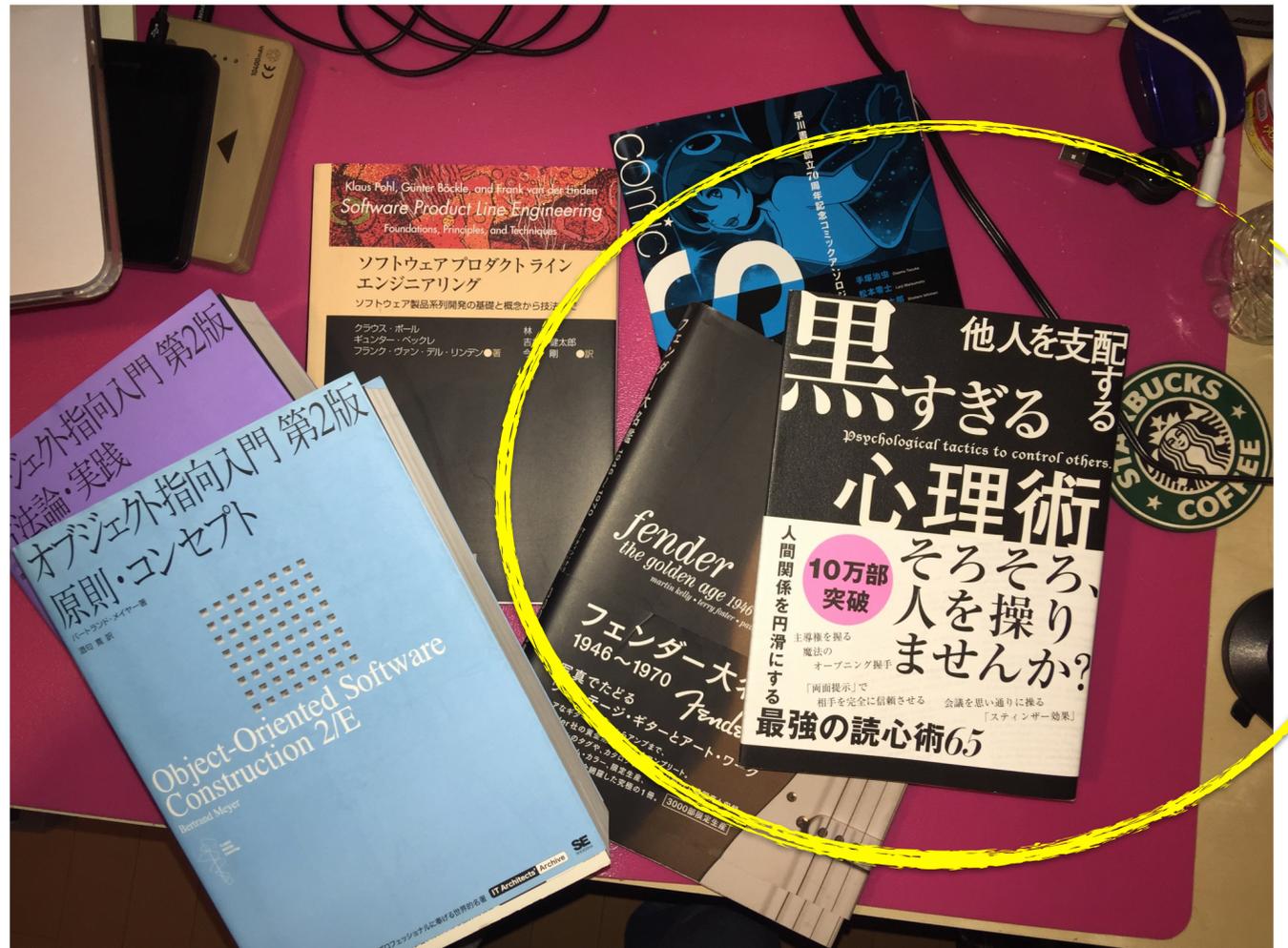
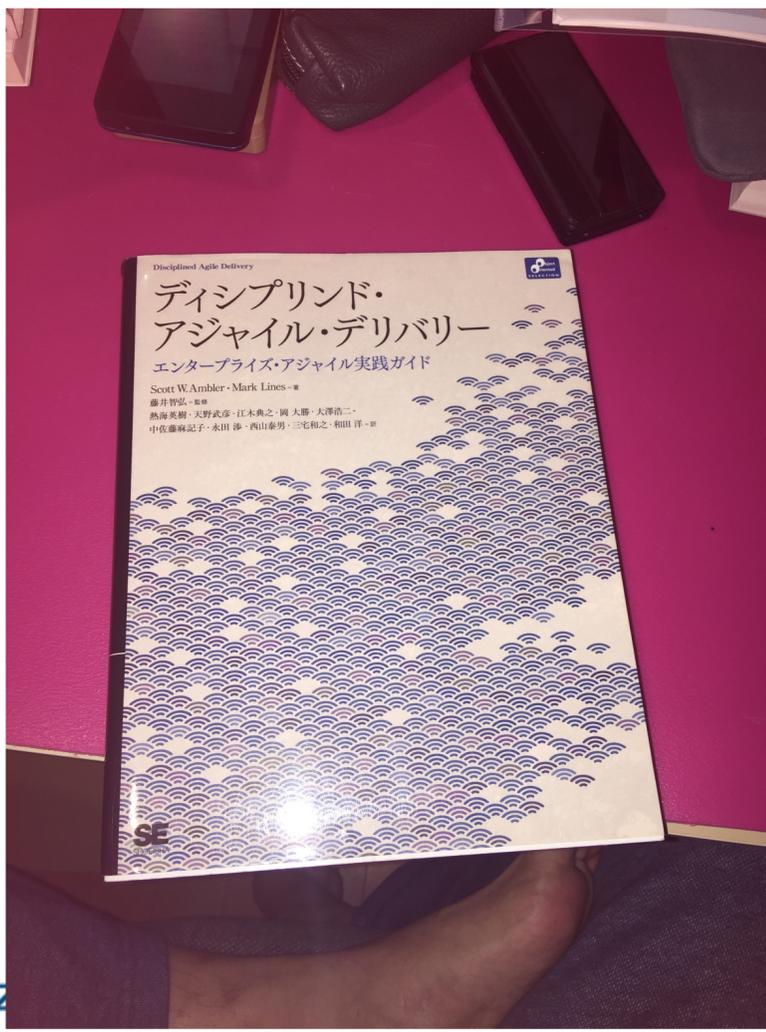
やってはいけない

# まとめ

- 🌐 (自戒) 思いつきでひねっても、大抵はうまくいかない
- 🌐 アジャイルの標準化は、○洲移転問題よりも比較的簡単である。なぜなら、利害で反対しているのではなく、「知らないから怖い」だけだから
- 🌐 標準化チームは、開発者以外の利害関係者への教育を重視すべし
- 🌐 標準化チームこそが、「究極のスクラムマスター」かもしれないよ

# 参考情報

- ・ ディシプリンド・アジャイル・デリバリー公式サイト
  - ・ 本家 <http://disciplinedagiledelivery.com>
  - ・ 公式日本語版 <http://disciplinedagiledelivery.jp>



# Agile Japan 2017

シン・アジャイル ~アジャイルでつくるミライ~

展示ブースにも遊びに来てね



株式会社ゼンアーキテクト



「世渡り相談」担当